



園便り 水無月

令和元年6月3日
こころの保育園文京西片

最近、子どもを巻き込む事件が多く聞かれ、保護者の方も不安な気持ちを抱えていることと思います。特に、保育園でもほぼ毎日行っている散歩について心配な気持ちもある中で、子ども達の成長、発達のために必要なことと理解して頂き、保育士への労いの言葉まで本当にありがとうございます。

散歩についてはすぐに職員会議を開き、危険箇所や散歩の行き方について話し合いました。また、保育園全体で協力しあい、現在栄養士も散歩と一緒にいくなどできる限り職員の人数を増員して対応しています。安全には留意しながら戸外活動を行っておりますので、ご理解のほど宜しくお願いいたします。

散歩場所は主に東大や西片公園へ行き、東大までの道のりは、保育園前の横断歩道を渡り、なるべく車通りの少ない道を選んで向かっています。道中、道路の端を歩く、信号の待ち方、横断するときには手を挙げるなど交通ルールを伝えていきますので、ご家庭でも同じように声を掛けて頂けると、共通ルールとして更に子どもに身につくかと思えます。

4、5歳児になって来ると、保育士と一緒に後ろを確認して「後ろから自転車来ます！」などと大きな声で伝えてくれるような姿も見られるようになり、毎日の習慣が身についていることを感じる場面があります。

東大へは全クラス様々な場所へ行き、四季を感じ、自然の移り変わりに気付き、自然物で遊ぶことで子どもの想像性を養って行きたいと考えています。何も無い広場の方が子どもが自分で遊びを考えるようになるため、乳児期は特に広場を中心に戸外活動をしています。また、でこぼこ道や階段を歩くことで、足を鍛えることも目的としています。現代の子は整備された道に慣れていきますので、足を上に持ち上げる幅が狭く、段差で転びやすかったり、転んだ時に手が出ないということが多くなって来ています。大人が起こしてくれるだろうと、自分で起き上がろうとしない子も増えていきます。何事も経験ですね。

乳児期から抱っこ等で自分で動く機会が少ないと、体幹が弱くなり椅子に正しい姿勢で座れなくなります。お尻が前に出てきてしまい、食事の姿勢、字を書く時の姿勢、全てが崩れて来ます。「椅子に座る」という当たり前のようなことでも、日常から自然と正しい姿勢を身につけられるように、乳児期からの生活を大切にしています。

公園での遊具を使った遊びは、正しい使い方、順番の待ち方が理解できるようになる幼児になってから行っています。

保育園での日常は「遊び」の中にたくさんの社会で必要な経験が取り入れられています。子どもの「できた！」経験とともに、「できなくて悔しい！」経験や「もう一回やる！」経験などを一緒に共感し、成長を育んで行きたいと思っております。ご理解、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

6月の行事予定

- | | |
|-----------|---|
| 6月 11日(火) | 3歳児クラス保育士体験(～6/14) |
| 6月 18日(火) | 2歳児クラス保育士体験(～6/21) |
| 6月 25日(火) | 巡回相談 ※臨床心理士の先生が来ます。 |
| 6月 26日(水) | 歯科検診 ※健診時、ゴム手袋を使用します。ゴムアレルギーのある方は担任にお知らせください。 |



※1歳児クラスの保育士体験・個人面談期間は10/16～19です
なお、この期間外でも希望があれば個別に相談いたしますので、お申し出下さい。

7月の行事予定

7月 4日(木) 七夕会
7月 6日(土) 夏祭り ※二部制で行います。
1部：11:00～13:00 2部：15:00～17:30



7月20日(土) 5歳児お泊まり保育 15:00集合 翌21日(日) 9:00解散
※プールについて プール開きは7月18日(木)を予定しています。
梅雨が明けるまでの時期は、天候不順でプールに入れない日が多いため、
気候によっては、プール開きの前に水遊びを始めます。水遊び、プール遊びの
持ち物等については、改めてお知らせいたします。

今月の地域活動プログラム

今月は虫よけスプレーと水遊び用かんたんおもちゃづくりです。

日にち 6月22日(土)

時間 0～2歳児： 9:30～10:30

3～5歳児： 10:50～11:50

持ち物 ①スプレーボトル(50ml～100ml)

②食品トレー(大きさの指定はありません)



ほけんだよ!

少しずつ日差しが強くなって来ました。散歩先では沢山遊んだ後は日陰で休んで、水分補給をして過ごしています。だんだん気温も上がり暑くなってくると、肌の痒みや虫刺され痕を搔いてしまう事もあります。そのままにしてしまうと、とびひになり患部をガーゼなどで覆わないと登園できなくなってしまいますので、お肌のケアをお願いします。園でも、手作りの虫よけスプレー等で対応して行きますので、ご理解ご協力をお願いします。

熱中症



熱中症は、日射病、熱射病などの総称です。
日射病は、戸外で強い直射日光にさらされていることが原因で、熱射病は室内でも気温の高い場所に長時間いたために起こることが原因です。

熱中症の症状

日射病…顔は赤く、呼吸が荒くなる。皮膚感覚は熱く、体温が上がっても汗が出ず、めまい・頭痛・吐き気などを伴います。

熱射病…顔は青白く、大量の汗をかきます。皮膚感覚は冷たく、めまい・吐き気を伴います。

とびひ

アトピーやあせも、虫刺され、すり傷などを手で触ったりかいたりすると、皮膚の表面に複数の細菌が付着して繁殖し、皮膚がただれたり、水ぶくれになったり、かさぶたになったりします。なかでも黄色ブドウ球菌は高温多湿を好むため、夏になると流行します。

患部を触った手で体の他の場所に触れると、感染がさらに広がってしまいます。ガーゼ等で覆って、患部に直接触れないようにしましょう。状態がひどい場合は、医療機関に相談してみてください。

虫刺されやすり傷は、放置せず、しっかりと消毒をして清潔にし、とびひにならないように注意が必要です。